東中 Sound

1-2
1-5

～第2号 合唱祭通信～

各学年曲の「Let's seach For tomorrow」・「YELL」・「虹」の歌詩の意味やポイントを紹介します。
これをきっかけに自分でも考えてみてください。

◇1年生学年曲「Let's seach For tomorrow」◇

作詩 堀 徹　作曲 大澤徹訓

この曲は、1989年の中学教材として歌われる合唱曲です。この曲の歌詞の意味は、「明るい明日を探しに行こう」という意味が込められています。サビが盛り上がり、きれいなハーモニーになるので、注目して下さい。音をしっかり出して、音域が広くなるとかっこよくなる曲です。

◇2年生 学年曲「YELL」◇

作詞 水野良樹　作曲 水野良樹

この曲は、相手へ自分へ声援を送る楽曲です。
普通に歌ってしまうと、どうしても暗かったり音程が下がり気味に聴こえてしまったりするのでが強く、明るくなるような歌い方にするとよいです。サビでは、しっかりと声を出して感情の高まりを表現してみるといい曲です。

◇3年生 学年曲「虹」◇

作詞 森山直太朗　作曲 森山直太朗

2006年の第73回NHK全国学校音楽コンクール中学校の課題曲として、書き下ろされました。この曲は、「別れの季節は出会いの季節でもある」ということが込められているそうです。歌い方のコツは、男声パートの合流のときには、それまでの女声パートのみでつくり上げた繊細な雰囲気を壊さないように慎重に合流しましょう。どのパートも他のパートの雰囲気を壊さず歌うことがいいと思います。

☺ あとがき ☺

この学唱通信で他の学年曲やポイントなどが少しでも分かったと思います。あと東中祭まで残りわずかなので、1回1回の練習を大切にし、また、この学唱際通信にかかれていた意味やポイントを考えながら歌ってみて下さい。そして、どの学年も思い出に残る学年曲合唱にして下さい。

～岩崎先生からのメッセージ～

東中祭まで残り1週間あまりとなり、各クラス音と心を1つにするべく、日々クラス曲の練習に一生懸命取り組んでいると思います。

ところで、学年曲はどうですか？あなたは思いっきり歌えているでしょうか？学年曲には各学年の思いがつまり、それぞれの学年の良さがはっきりと表れます。1年生は、大きく口をあけて元気に生き生きと自信を持って、2年生は各パートの良さを活かしたかけ合いを楽しみながら、3年生は曲の持つ世界観を大切にしながら、全員の声で美しく表現し、ホールを感動のうずにまきこむことを目指してほしいと思います。

自分たちの学年の良さや輝きはその学年にしか出せません。十分に他学年に見せつけてください。自分の学年に誇りを持って全力で歌い上げましょう。